

(様式1-5)

石川町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和3年10月22日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	石川町地域魅力発信事業	事業番号	A - 2
事業実施主体		石川町	総交付対象事業費		823千円
既配分類		千円	当該年度交付対象事業費		823千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業					
①情報発信事業					
				小計	823千円
i) 風評動向調査					
ii) 体験等企画実施					823千円
iii) 情報発信コンテンツ作成					
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用					
				小計	千円
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
・大阪市内 復興庁主催イベント ブース出展 1回 (石川町の観光資源を中心とした5G×VR動画体験、4Kと360度カメラの映像を活用し、大阪市内にしながら石川町の観光資源等を体験等のPRイベント)(ポスター掲出、観光PRパンフレット配布)					
・SNS(LINE、Youtube)による情報発信等 計60回					
【アウトカム】					
イベント来場者数 5500人 福島県に対するイメージの向上 70%					
事業概要					
事業実施主体	石川町				
主な企画内容	・大阪市内での観光資源等を中心としたイベントの開催 ・SNS等を利用した情報発信				
主な事業の実施場所	大阪市内				
事業の実施期間	令和3年12月～令和4年3月				
企画内容					
【実施体制】					
①実地主体：石川町					
②連携団体及び役割分担					
(1) 石川町：事業の実施、関係団体との調整等を行う。					
(2) 復興庁：イベントを主催					
(3) 委託業者：イベントの企画、運営等を行う。					
(4) 石川町観光物産協会：観光PRパンフレット配布、LINEファンクラブ員入会案内等					

【現状・課題】

<現状>

風評の払拭については、これまでの取組より一定の成果を上げているものの、福島県産農林水産物の全国平均価格との乖離、観光業の不振等が今も続いている。

このような科学的根拠に基づかない風評は、福島県の現状についての認識が不足していること、放射線に関する正しい知識等が十分に周知されていないことなどに原因があると考えられる。

<課題>

国（復興庁）及び地域（福島）が、風評の払拭に向けて、それぞれ効果的な情報発信を実施してきたが、両者が一体となつての情報発信は実施できていない。

風評の払拭に向けては、これまで、ラジオ、テレビ、インターネット等のメディアを活用した情報発信及びシンポジウム、販促イベント等の直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信を行ってきたが、後者については、首都圏が中心で行われてきた。

【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・町広報誌及びホームページにおいて風評払拭のためのPR活動
- ・町が実施する桜まつり、商工会が実施する夏祭り、町内各地域で実施する文化祭において風評払拭のためのPR活動
- ・県内及び県外（中央区浜町公園、同区日本橋ふくしま館、荒川区遊園他）で開催されるイベントにおいて、町農産物等の安全安心のPRや風評払拭活動

【事業実施により得られる効果】

- ・国（復興庁）及び地域（福島）が連携・協力し、情報発信することにより、それぞれの総和以上の発信力を発揮することを狙う。
- ・そのため、直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信は、首都圏を中心に実施してきたところであるが、関西圏に対しても強い発信力をもって伝えることができる。
- ・石川町の安全性及び観光資源を関西の消費者に直接伝えることができる。
- ・SNS（LINE、Youtube）を活用した新たな情報発信により、若年層をターゲット層として、観光地等へのモニタリング検査結果の正しい情報、観光資源に対する取組等を伝えることで、石川町の地域の魅力を広く発信することができる。

【今年度事業における具体的な取組内容】

大阪市内の復興庁主催イベント

【テーマ】

復興庁の風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略として、

①福島復興の現状等を「知ってもらう：放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭」

②福島県産品を「食べてもらう：福島県産品の利用・販売促進等」

③福島県に「来てもらう：国内外からの被災地への誘客促進」の3つの大項目の観点から、

多くの人にアピールするため、関西圏の主要都市である大阪市内において、人の交流が増加する週末に、効率的に①～③の該当項目の情報を発信する。国（復興庁）においては、①の情報発信を行い、地域（福島）においては、②③を中心に情報発信を行う。

【日時】令和4年3月6日（日）1日間（現在の最有力候補日となります。）

【場所】大阪市内

【ターゲット層】若年層

【情報発信】公式HP、SNS（LINE、Youtube）及び復興庁HP・関連団体（観光物産協会）等を利用し発信

【概算費用】823千円

【事業内容】

・疑似体験等

石川町の観光資源（2,000本の桜並木・自由民権史跡・温泉・水晶・果樹農産物・お祭り等）を来場者に対して、ポスター掲出（既存）、観光PRパンフレット（既存）を活用していくとともに、目玉として5G×VR動画や4Kと360度カメラの映像にて疑似体験をしていただき、大阪市内にいながら石川町の観光資源等を体験し、興味関心を持つきっかけとして、地域の魅力を発信する。

題材「自然がいっぱい！温泉サイクリング！アウトドア！」全長25kmサイクリングコース

構成内容

「テーマ：水」①福島の水30選の小和清水・北須川溪流

「テーマ：桜」②あさひ公園・今出川と北須川の桜並木・樹齢500年の高田桜

「テーマ：紅葉」③中田もみじ谷清流・鷹ノ巣公園

「テーマ：狛犬」④石和都々古和気神社・鈴木重謙屋敷

「テーマ：鉱物」⑤和久観音山鉱山・歴史民俗資料館

「テーマ：温泉」⑥母畑温泉・猫啼温泉・片倉温泉・塩ノ沢温泉

「テーマ：絶景」⑦にほんぶな山頂、八幡山、石尊山

※会場客層によっては構成内容の変更有り。

・ステージ

上記疑似体験等と連動して、題材のとしているサイクリングやアウトドアに関連しているアーティスト又はユーチューバー（調整中）と一緒にステージを活用し、本町の観光地などをPRし効果的に発信する。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【次年度以降の取り組み】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。

<具体的な対策>

- ・ イベント開催時は、検温、マスクの着用と手指の消毒を徹底する。また、人との距離を保つ（ソーシャルディスタンスの徹底）
- ・ スタッフも含め関係者に関しては検温を実施し、体調が悪い方には作業に従事させないようにする。